



副議長
あおやま よしあき
青山 義明



新年明けましておめでとうございます。今年度も引き続き市政発展の為頑張っておりますのでご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。さて、私の市政報告は、洪水時の河川監視や住民避難の支援を目的とした「危機管理型水位計」についてです。2015年に国土交通省は、氾濫が発生することを前提として社会全体で常にこれに備える水防災意識社会を再構築するという方針を示しました。

これを受け愛知県では、県が管理する中小河川に危機管理型水位計を設置し、2018年6月からインターネットで水位情報の提供を開始しました。蒲郡市におきましては当初、落合川の大坪橋・西田川の昭和橋の2か所に水位計が設置されていましたが、今現在は拾石川の拾石橋・西田川の記念橋にも水位計が増設され4か所となりました。洪水時には「川の水位情報」を検索して頂く、5分おきに水位を観測します。

近年は異常気象により、ゲリラ豪雨や大型台風の恐れがありますので、是非御活用して頂き市民の皆様へ安全確保になりますよう報告させて頂きました。



政調会長
おおすか はやし
大須賀 林



明けましておめでとうございます。少しずつ以前の生活に戻りつつありますが、オミクロン株という新たなコロナの脅威が出現してまいりました。油断は禁物です。さて私の12月議会の質問を報告させていただきます。今回は下水道事業の今後のあり方について質問と提言をさせていただきました。

問：市域の4割が市街化区域で2,054haあり未整備区域はあと370ha。どこをいつまでにやるか
答：5年間65億円をみこみ蒲郡北部地区から西浦にかけて整備していく。

問：市浜町の下水道浄化センターは昭和52年より稼働し40数年たつが、建物設備とも古くなり処理場維持関連経費は下水道使用料金収入の7割以上となっている。この際浜町を廃止して県の豊川浄化センターに統合をはかってはどうか。現浄化センター汚泥は一部焼却灰を最終処分場に埋立しているが、豊川はほぼ全量再利用されていて地球環境にも優しい。市が循環型社会経済とカーボンニュートラルを進めていくという観点に立って進めてほしい。

答：下水道の広域化・共同化の可能性を検討していく。



総務会長
すずき まさひろ
鈴木 将浩



明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症もまだまだ予断を許さない状況ですが、何とか収束へと向かうことと共に、皆様のご健康とご多幸、また事業のご発展をご祈念申し上げます。

昨年12月の定例会では、「PPP/PFIの推進」「障害児等福祉計画」「蒲郡若者議会」について質問いたしました。蒲郡市でも公民連携・民間活用という言葉や、各種計画でよく目にします。PFIとは、公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間が行う手法です。民間のノウハウ・資金を活用することで、コスト削減、サービス向上、地域経済の活性化などを図ることができます。しかし、まだまだ課題も多く、基本方針や検討規程の策定、庁内の体制整備や連携強化、地元事業者からの提案促進など、考える必要がある点について質問・提案をさせていただきました。

官民あげて地域経済活性化やまちづくりに取り組んでいけるよう、様々な視点から動いていければと思います。



東三河広域連合議員
おおば やすのり
大場 康議



令和四年の新春を迎えるにあたり、本年が市民の皆様にとりまして素晴らしい一年であります様、心よりお祈り申し上げます。

さて一昨年から全世界を震撼させております新型コロナ感染拡大が日本経済や国民生活に大きな影響を与えておりました。市内におきましても飲食業、観光業、食品関係事業をはじめ地場産業の農業、漁業界への影響も甚大なものであります。

一方昨年三月からのコロナワクチン接種につきましては、市民の皆様との協力と医療関係者様や接種会場を提供頂いた観光ホテル様等の献身的なご尽力で迅速に進められたところです。今後各人が感染予防に努めながら一刻も早い収束を願うところです。

さて昨年は蒲郡市行政として大きく舵を切った一年でありました。「23号蒲郡バイパス令和6年度完成」「蒲郡市ゼロカーボンシティ宣言」「市民病院の新棟建設」「蒲郡市産業振興基本条例」「蒲郡市第5次総合計画」「蒲郡市東港まちづくりビジョン」「三谷・大塚地区の地域バス運行開始」「蒲郡市民体育センター耐震改修」等着々と進捗しております。

今年も議員として蒲郡の発展のため努力してまいる所存であります。

新規要望一部抜粋

- 竹島水族館機能の充実と竹島パルク建替え
- プレミアム付き商品券（プレミアム率30%）発行事業の継続実施
- DX（デジタルトランスフォーメーション）推進補助金の創設
- 情報格差は正に関する取組み推進
- 電子地域通貨の導入検討
- 地域猫活動に対する不妊去勢費用の助成制度創設
- 中小企業新規投資支援交付金の創設
- 空き家除却後の固定資産税優遇
- リフォーム助成金制度を創設
- 特別支援学校の設置
- フルマラソン実施の検討
- 災害拠点病院の指定に向けた取組み
- 新棟（総合地域医療センター、再生医療センター）建設の早期
- ポートパーク設置時に学校利用も含めた温水プールの検討

令和4年度予算要望

10月25日に鈴木寿明市長に対して、令和4年度の予算要望を行いました。各課に分けて全部で11ページ・174項目の要望を行いました。その後、今後の市政についての意見交換を行いました。



国道23号蒲郡バイパス建設特別委員会(10/11)

令和6年度末までの開通が発表された「蒲郡バイパス」の工事進捗などの現地確認を行いました。毎年着実に工事が進んでおり、今の蒲郡ICと豊川為当ICの間に新設される「金野IC」も少しずつ形が見えてきました。引き続き予定通り開通が出来るように、併せて今後の4車線化に向けて、関係各機関への要望を続けて参ります。



リフォーム補助金要望会(11/12)

新型コロナウイルス感染症の影響で、建築建設資材等の高騰により、経営環境が厳しい状況にある関連事業者8団体の皆さんが、住宅リフォーム助成制度の実施についての要望会を行いました。自民党市議団としても市民の皆様のご良好な住宅への改築改修への支援と共に高い経済波及効果が見込まれる同制度実施について要望いたしました。



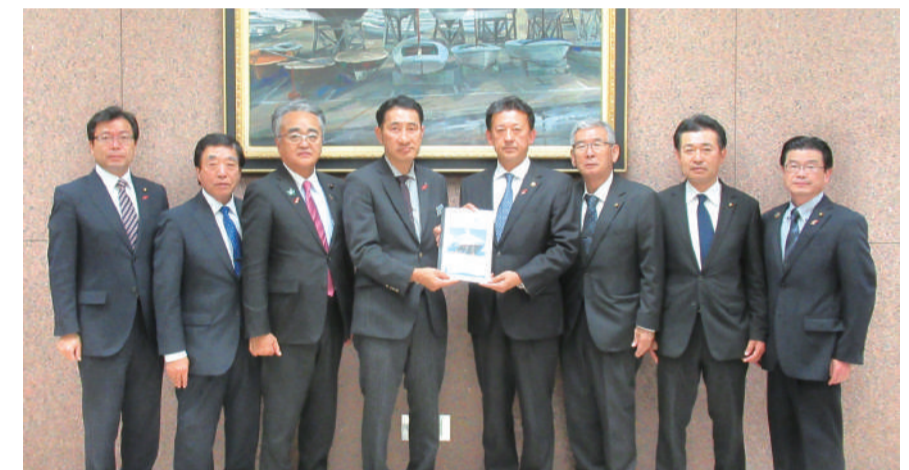
商工会議所との勉強会(11/22)

蒲郡商工会議所役員の皆様と、蒲郡市内の商工に関する議題について様々な意見交換を行いました。「蒲郡市産業振興基本条例」「竹島水族館の今後」「蒲郡市への要望書」などを大きなテーマとしつつ、新型コロナウイルス感染症の影響も大きい市内経済に対する対応策についても意見を交わしました。



愛知県事業に関する勉強会(11/10)

自民党蒲郡市議団と公明党蒲郡市議団が合同で開催し、愛知県の「道路建設課」「河川課」「港湾課」から、主に蒲郡市に関連する各種事業の状況について説明をいただきました。その後の、各担当課との意見交換では、道路・川・港など蒲郡市に関連する事業の更なる推進について要望いたしました。



蒲郡市総合要望(11/19)

鈴木蒲郡市長・飛田愛知県議会議員と共に、愛知県に対する総合要望を行いました。重点項目として、「大塚金野線」「臨港道路海陽3号線」「11号岸壁(水深11m)」「鹿島バイパス4車線化」「東港地区のまちづくり推進」を取り上げ、それ以外にも道路や港、河川整備の要望を行いました。



バイオマス発電所に関する勉強会(12/10)

浜町で建設が進められているバイオマス発電所について、愛知蒲郡バイオマス発電合同会社の方から、プロジェクトの概要や工事進捗状況を伺いました。再生可能エネルギーとして、11万世帯分の発電が行われる予定です。質疑応答では、安全性や環境対策、排出される灰の処理や温排水の利活用などについて伺いました。